



ECOWAY

KOBELCO
神戸製鋼グループ

平成25年3月期 (2012年度) 決算説明会

2013年4月26日



株式会社 **神戸製鋼所**



報告事項

1. 2012年度実績
2. 2013年度業績見通し
3. セグメントの概況
4. 財務の状況



ECOWAY

KOBELCO

神戸製鋼グループ

報告事項

1. 2012年度実績



ECOWAY

2012年度 実績

(単位:億円)

	2011年度		2012年度			差異	
	実績	2月公表	実績		年度③	対前年	対2月
	①	②	上期	下期		③-①	③-②
売上高	18,646	16,900	8,585	8,269	16,855	△1,791	△45
営業損益	605	100	55	56	112	△493	+12
経常損益	337	△250	△110	△71	△181	△519	+69
特別損益	△60	△30	△180	109	△70	△10	△40
当期損益	△142	△300	△381	112	△269	△127	+31



ECOWAY

2012年度 セグメント別売上高

(単位:億円)

	2011年度		2012年度			差異	
	実績	2月公表	実績		年度③	対前年	対2月
	①	②	上期	下期		③-①	③-②
鉄鋼	8,542	7,400	3,836	3,592	7,428	△1,113	+28
溶接	844	810	420	401	822	△21	+12
アルミ・銅	2,899	2,600	1,376	1,245	2,622	△277	+22
機械	1,528	1,660	808	862	1,671	+143	+11
エンジニアリング	558	470	179	285	464	△93	△6
神鋼環境ソリューション	711	735	291	434	726	+14	△9
コベルコ建機	3,071	2,650	1,503	1,174	2,678	△393	+28
コベルコクレーン	480	460	221	233	455	△25	△5
その他	691	730	285	446	732	+40	+2
消去	△681	△615	△338	△407	△745	△64	△130
合計	18,646	16,900	8,585	8,269	16,855	△1,791	△45



ECOWAY

2012年度 セグメント別経常利益

(単位:億円)

	2011年度		2012年度			差異	
	実績	2月公表	実績		対前年 ③-①	対2月 ③-②	
	①	②	上期	下期			年度③
鉄鋼	△ 146	△ 490	△ 240	△ 261	△ 502	△ 355	△ 12
溶接	31	15	10	10	21	△ 9	+ 6
アルミ・銅	60	20	13	25	39	△ 21	+ 19
機械	98	100	44	75	120	+ 21	+ 20
エンジニアリング	3	△ 15	△ 8	△ 5	△ 13	△ 16	+ 2
神鋼環境ソリューション	42	40	3	36	39	△ 3	△ 1
コベルコ建機	228	50	56	12	68	△ 160	+ 18
コベルコクレーン	1	△ 30	△ 8	△ 13	△ 22	△ 24	+ 8
その他	72	70	21	53	75	+ 3	+ 5
消去	△ 54	△ 10	△ 2	△ 5	△ 7	+ 46	+ 3
合 計	337	△ 250	△ 110	△ 71	△ 181	△ 519	+ 69



ECOWAY

報告事項

2. 2013年度業績見通し



ECOWAY

2013年度 業績見通し

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	8,585	8,269	16,855	8,700	9,200	17,900	+1,045
営業損益	55	56	112	300	450	750	+638
経常損益	△ 110	△ 71	△ 181	150	300	450	+631
特別損益	△ 180	109	△ 70	0	0	0	+70
当期損益	△ 381	112	△ 269	100	250	350	+619



ECOWAY

2013年度 セグメント別売上高

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
鉄鋼	3,836	3,592	7,428	3,650	3,850	7,500	+72
溶接	420	401	822	390	400	790	△32
アルミ・銅	1,376	1,245	2,622	1,350	1,400	2,750	+128
機械	808	862	1,671	770	890	1,660	△11
エンジニアリング	179	285	464	250	350	600	+136
神鋼環境ソリューション	291	434	726	300	360	660	△66
コベルコ建機	1,503	1,174	2,678	1,570	1,500	3,070	+392
コベルコクレーン	221	233	455	260	290	550	+95
その他	285	446	732	320	380	700	△32
消去	△ 338	△ 407	△ 745	△ 160	△ 220	△ 380	+365
合 計	8,585	8,269	16,855	8,700	9,200	17,900	+1,045



ECOWAY

2013年度 セグメント別経常利益

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
鉄鋼	△ 240	△ 261	△ 502	80	100	180	+682
溶接	10	10	21	10	15	25	+4
アルミ・銅	13	25	39	40	50	90	+51
機械	44	75	120	15	35	50	△70
エンジニアリング	△ 8	△ 5	△ 13	0	0	0	+13
神鋼環境ソリューション	3	36	39	7	13	20	△19
コベルコ建機	56	12	68	40	80	120	+52
コベルコクレーン	△ 8	△ 13	△ 22	0	0	0	+22
その他	21	53	75	20	40	60	△15
消去	△ 2	△ 5	△ 7	△ 62	△ 33	△ 95	△88
合 計	△ 110	△ 71	△ 181	150	300	450	+631



ECOWAY

全社 経常損益差異内訳【12年度⇒13年度】

(単位:億円)

	2012年度 実績			2013年度 見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△110	△71	△181	150	300	450
					+631	

差異要因

総コスト削減※1	+ 315
在庫評価影響	+ 335
減価償却方法変更影響	+ 220
為替影響※2	△ 80
その他	△ 159
合計	+ 631

※1 体質強化活動による収益改善効果を含む

※2 2013年度見通しの為替前提:US\$1=¥95



ECOWAY

体質強化委員会の取り組みについて

- 目的：2013年度黒字化を目指した短期的な収益改善策と
体質強化策の策定・実行

- 取り組み内容：
 - ・財務：在庫削減、資産売却、戦略投資案件の厳選 など
 - ・人事・労務：役員報酬/管理職年棒カット、スタッフ部門の業務効率化 など
 - ・固定費／調達コスト：保全工事費の削減、経費削減、調達先の競合徹底、集中購買・海外調達推進 など
 - ・工場／ものづくり：品質失敗コスト削減、省エネ推進 など

- 2013年度効果(2012年度比):
 - キャッシュ創出額：1,000億円程度
 - 収益改善額：250億円程度



ECOWAY

報告事項

3. セグメントの概況



ECOWAY

(余 白)



ECOWAY

【鉄鋼】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	3,836	3,592	7,428	3,650	3,850	7,500	+72
経常利益	△ 240	△ 261	△ 502	80	100	180	+682

<2012年度の状況>

- ・上期に高炉トラブルの影響があったことや造船分野の低迷などにより、当社の粗鋼生産量は、701万トンとなった。

<2013年度の見通し>

- ・円高是正などを背景とした需要家の事業環境の改善に期待。
- ・体質強化委員会での取り組みや現場レベルでのコスト削減などにより、黒字化を目指す。



ECOWAY

【溶接】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	420	401	822	390	400	790	△32
経常利益	10	10	21	10	15	25	+4

<2012年度の状況>

- ・建築、造船分野の需要が減少。
- ・円高を背景とした安価な輸入溶接材料が流入。

<2013年度の見通し>

- ・需要が堅調な東南アジアやエネルギー向けなどで、販売量の最大化を目指す。
- ・コスト削減の取り組みを強化。



ECOWAY

【アルミ・銅】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	1,376	1,245	2,622	1,350	1,400	2,750	+128
経常利益	13	25	39	40	50	90	+51

<2012年度の状況>

- ・飲料缶向けや自動車向けの需要は堅調に推移。
- ・IT関連分野は、需要低迷が継続。

<2013年度の見通し>

- ・需要は、自動車分野を中心に、海外向けで増加を見込む。
- ・自動車材を中心に販売数量を伸ばし、コスト削減などにより増益を見込む。



ECOWAY

【機 械】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	808	862	1,671	770	890	1,660	△11
経常利益	44	75	120	15	35	50	△70
受注高	602	492	1,095	780	750	1,530	+435

<2012年度の状況>

- ・圧縮機を中心に総じて需要は堅調に推移。
- ・大型案件では、円高の影響もあり厳しい競合状況が継続。

<2013年度の見通し>

- ・需要は海外を中心に堅調に推移、最大受注量の確保に努める。
- ・昨年までの円高下で受注した採算の悪い案件の影響で、収益が悪化。



ECOWAY

【エンジニアリング】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	179	285	464	250	350	600	+136
経常利益	△ 8	△ 5	△ 13	0	0	0	+13
受注高	109	226	335	430	430	860	+525

<2012年度の状況>

- ・欧州債務危機や新興国の景気減速懸念により厳しい受注環境となった。
- ・原子力発電所での放射性廃棄物の焼却処理設備の建設を受注し、復興に向けて貢献。

<2013年度の見通し>

- ・2013年4月より、「エンジニアリング事業部門」に名称変更。
- ・北米のシェールガス革命により、MIDREX[®]プロセスが注目されつつあり、受注獲得へ向け取り組みを強化。



ECOWAY

【神鋼環境ソリューション】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	291	434	726	300	360	660	△66
経常利益	3	36	39	7	13	20	△19



ECOWAY

【コベルコ建機】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	1,503	1,174	2,678	1,570	1,500	3,070	+392
経常利益	56	12	68	40	80	120	+52

<2012年度の状況>

- ・国内の需要は、復興需要などで堅調に推移。
- ・中国の需要は、金融引き締めなどの影響により前年割れが継続。

<2013年度の見通し>

- ・国内の需要は、復興需要などで堅調に推移。
- ・中国の需要は、年後半から緩やかな回復を想定。
- ・円高の是正による採算改善とコストダウンの進展により増益を見込む。



ECOWAY

【コベルコクレーン】

(単位:億円)

	2012年度			2013年度			差異 年度 ②-①
	実績			見通し			
	上期	下期	年度①	上期	下期	年度②	
売上高	221	233	455	260	290	550	+95
経常利益	△ 8	△ 13	△ 22	0	0	0	+22

<2012年度の状況>

- ・国内は、復興需要が本格化。
- ・海外は、北米・東南アジアで底堅い需要があったものの、円高の影響を受け採算が悪化。

<2013年度の見通し>

- ・国内は、復興需要の取り込みに注力。
- ・需要が堅調な北米や東南アジア向けの販売台数最大化を目指す。
- ・変動費削減プロジェクトの効果を早期に実現し、収益改善を見込む。



ECOWAY

報告事項

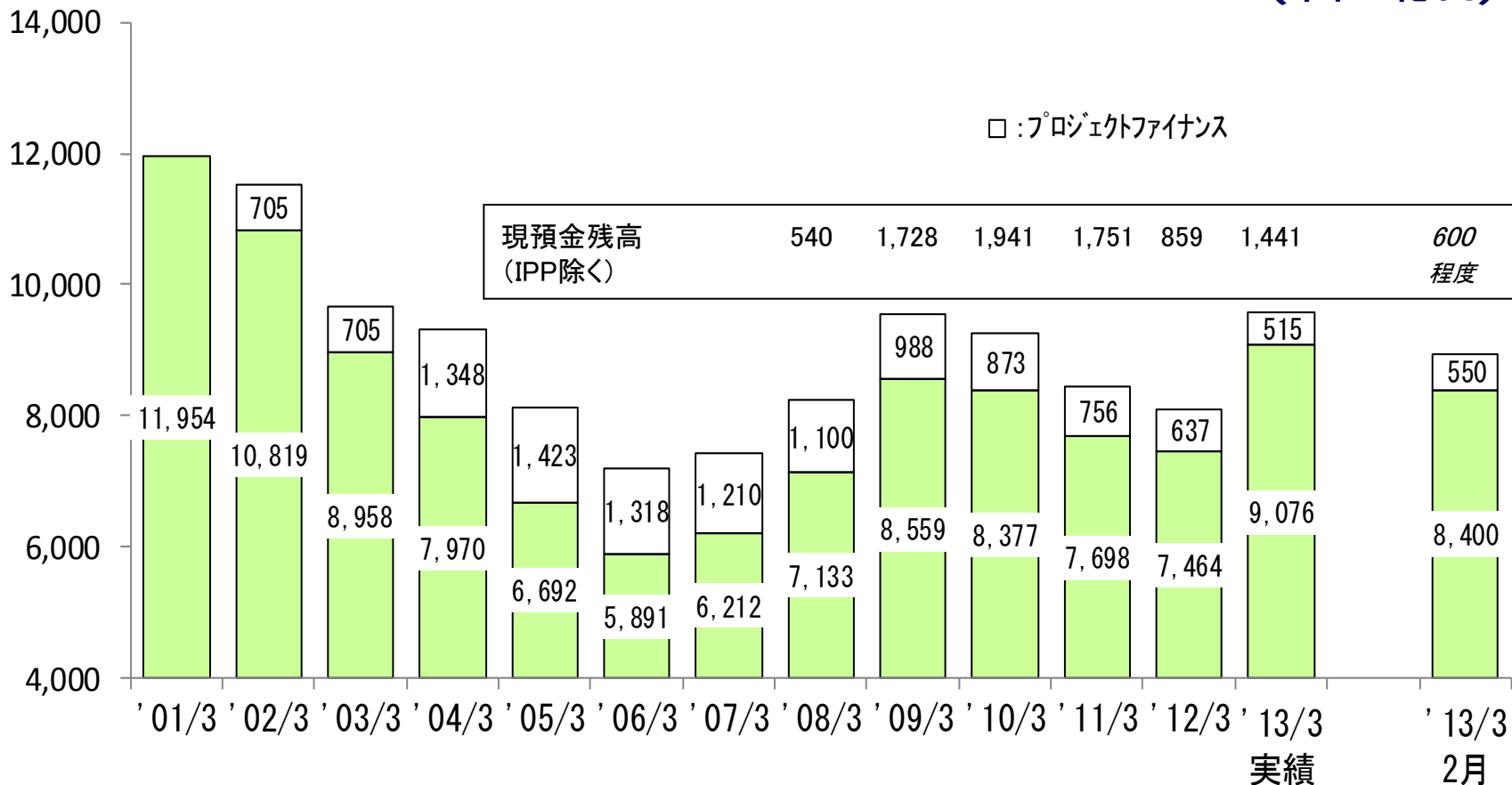
4. 財務の状況



ECOWAY

外部負債残高

(単位:億円)



	10年度末	11年度末	12年度末	12年度末
	実績	実績	実績	(2月公表)
D/Eレシオ	1.36倍	1.37倍	1.75倍	1.7倍程度



ECOWAY

＜ご参考データ＞



ECOWAY

(余 白)



ECOWAY

全社 経常損益差異内訳【11年度⇒12年度】

(単位:億円)

	2011年度 実績			2012年度 実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	385	△47	337	△110	△71	△181
				△519		

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 620	生産・出荷	△ 935
総コスト削減	+ 320	鉄鋼在庫評価影響	△ 185
		アルミ・銅在庫評価影響	△ 40
		連結子会社・持分法	△ 210
		その他	△ 89
合計	+ 940	合計	△ 1,459



ECOWAY

鉄鋼 経常損益差異内訳【11年度⇒12年度】

(単位:億円)

	2011年度 実績			2012年度 実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	35	△181	△146	△240	△261	△502
				△355		

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 620	生産・出荷	△ 875
総コスト削減	+ 255	在庫評価影響	△ 185
		為替影響	△ 35
		その他	△ 135
合計	+ 875	合計	△ 1,230



ECOWAY

全社 経常損益差異内訳【12年度 2月公表⇒実績】

(単位:億円)

	2012年度 (2月公表)			2012年度 実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△110	△140	△250	△110	△71	△181
					+69	

増益要因		減益要因	
総コスト削減	+ 15	生産・出荷	± 0
連結子会社・持分法	+ 45	原料価格	± 0
その他	+ 39	鉄鋼在庫評価影響	△ 30
		アルミ・銅在庫評価影響	± 0
合計	+ 99	合計	△ 30



ECOWAY

鉄鋼 経常損益差異内訳【12年度 2月公表⇒実績】

(単位:億円)

	2012年度 (2月公表)			2012年度 実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△240	△250	△490	△240	△261	△502
					△12	

増益要因		減益要因	
その他	+ 18	生産・出荷	± 0
		原料価格	± 0
		総コスト削減	± 0
		在庫評価影響	△ 30
		為替影響	± 0
合計	+ 18	合計	△ 30



ECOWAY

全社 経常損益差異内訳【12年度 上期⇒下期】

(単位:億円)

	2011年度 実績			2012年度 実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	385	△47	337	△110	△71	△181
				└── +38 ─┘		

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 190	生産・出荷	△ 280
総コスト削減	+ 35	連結子会社・持分法	△ 15
鉄鋼在庫評価影響	+ 75		
アルミ・銅在庫評価影響	+ 15		
その他	+ 18		
合計	+ 333	合計	△ 295



ECOWAY

鉄鋼 経常損益差異内訳【12年度 上期⇒下期】

(単位:億円)

	2011年度 実績			2012年度 実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	35	△181	△146	△240	△261	△502
				 △21		

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 190	生産・出荷	△ 260
総コスト削減	+ 30	為替影響	± 0
在庫評価影響	+ 75	その他	△ 56
合計	+ 295	合計	△ 316



ECOWAY

全社 経常損益差異内訳【12年度⇒13年度】

(単位:億円)

	2012年度 実績			2013年度 見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△110	△71	△181	150	300	450
					+631	

差異要因

総コスト削減※1	+ 315
在庫評価影響	+ 335
減価償却方法変更影響	+ 220
為替影響※2	△ 80
その他	△ 159
合計	+ 631

※1 体質強化活動による収益改善効果を含む

※2 2013年度見通しの為替前提:US\$1=¥95



ECOWAY

鉄鋼 経常損益差異内訳【12年度⇒13年度】

(単位:億円)

	2012年度 実績			2013年度 見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常損益	△240	△261	△502	80	100	180
					+682	

差異要因

総コスト削減	+ 305
在庫評価影響	+ 300
減価償却方法変更影響	+ 180
為替影響	△ 120
その他	+ 17
合計	+ 682



ECOWAY

【鉄鋼】生産・販売状況

	2011年度			2012年度			
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
全国粗鋼 (万t)	5,332	5,314	10,646	5,476	5,253	10,729	
全国在庫水準 (万t)	564	551	--	568	529	--	2月末
薄板3品在庫水準 (万t)	438	411	--	416	379	--	2月末
国内自動車生産台数(万台)	390	537	927	490	382	873	4-2月計
<当社>							
粗鋼生産 (万t)	363	353	716	352	349	701	
鋼材販売量 (万t)	298	303	601	289	290	579	
(内 国内)	(201)	(221)	(422)	(206)	(200)	(406)	
(内 輸出)	(97)	(82)	(179)	(83)	(90)	(173)	
鋼材販売単価 (千円/t)	88.6	88.6	88.6	81.1	73.4	77.2	
鋼材輸出比率(金額ベース)	29.2%	23.3%	26.2%	26.1%	29.3%	27.6%	

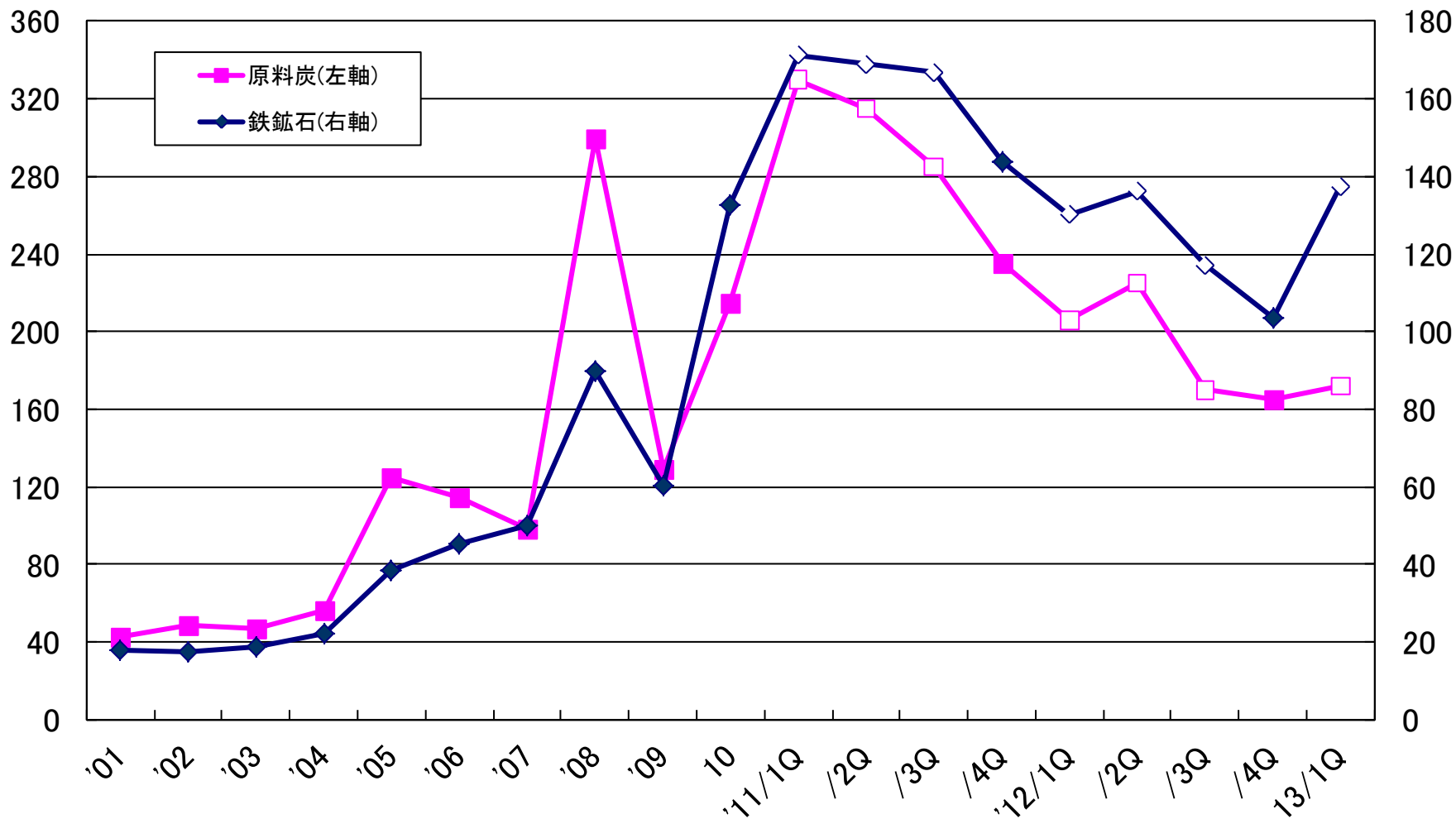


ECOWAY

【鉄鋼】鉄鉱石と原料炭(強粘炭)価格推移

(原料炭:\$/トン)

(鉄鉱石:\$/トン)

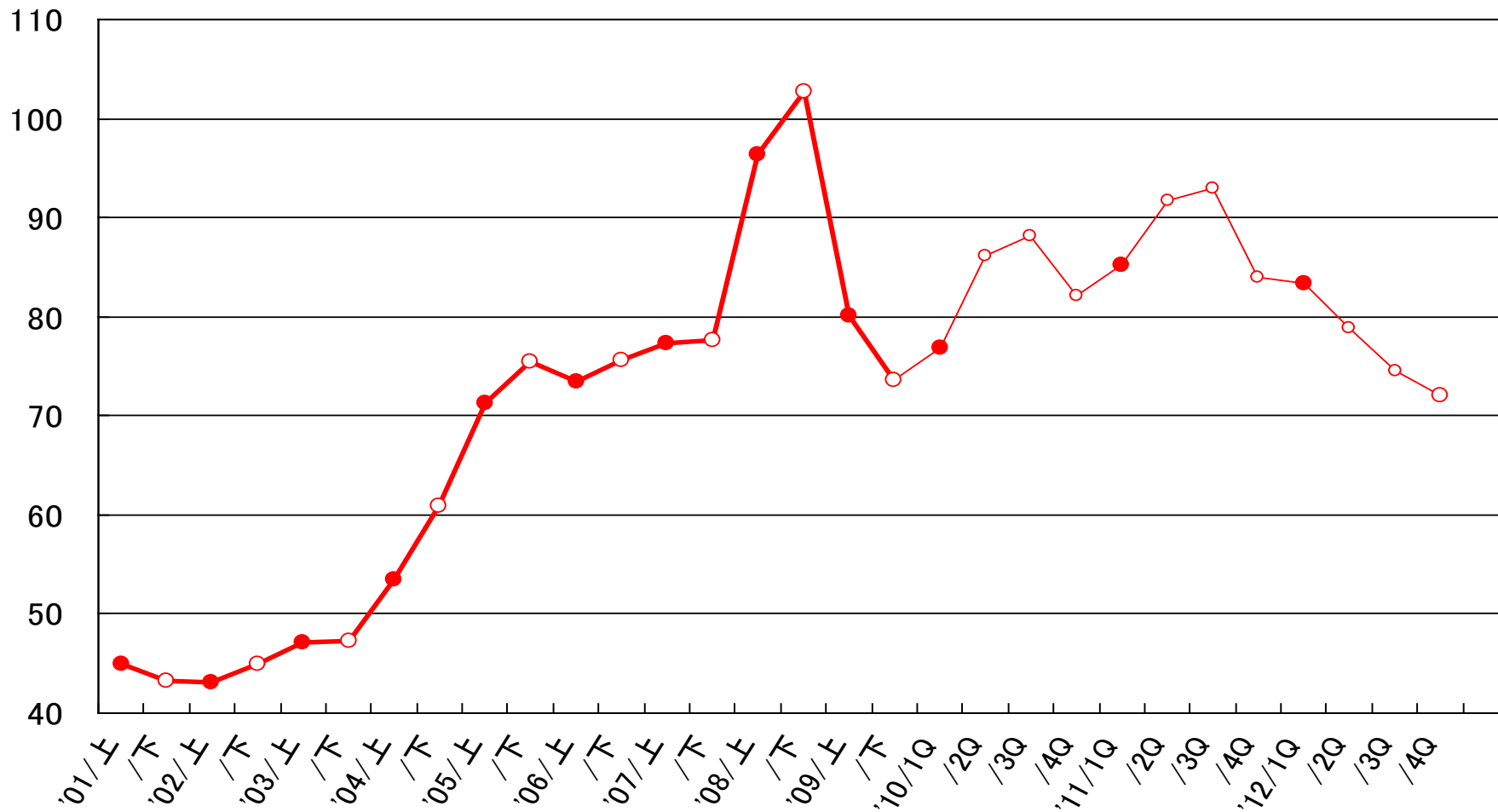




ECOWAY

【鉄鋼】鋼材単価の推移

(単位:千円/トン)





ECOWAY

【溶接】需要動向と当社販売状況

(単位:千トン)

	2011年度			2012年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
国内需要(輸入材除く)	115	118	233	112	104	216
＜当社グループ販売状況＞						
国内	65	68	133	65	59	124
海外	101	94	195	102	98	200
グループ合計	166	162	328	167	157	324



ECOWAY

【アルミ・銅】需要動向と当社販売状況

(単位:千ト)

	2011年度			2012年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
軽圧品需要	1,001	997	1,998	997	955	1,952
アルミ板	616	560	1,176	600	559	1,159
アルミ押出	385	437	822	397	396	793
内 缶材(国内)	229	186	415	218	196	414
伸銅品需要	273	252	525	258	238	496
板 条	204	192	396	197	184	381
銅 管	69	60	129	61	54	115

<当社の販売状況>

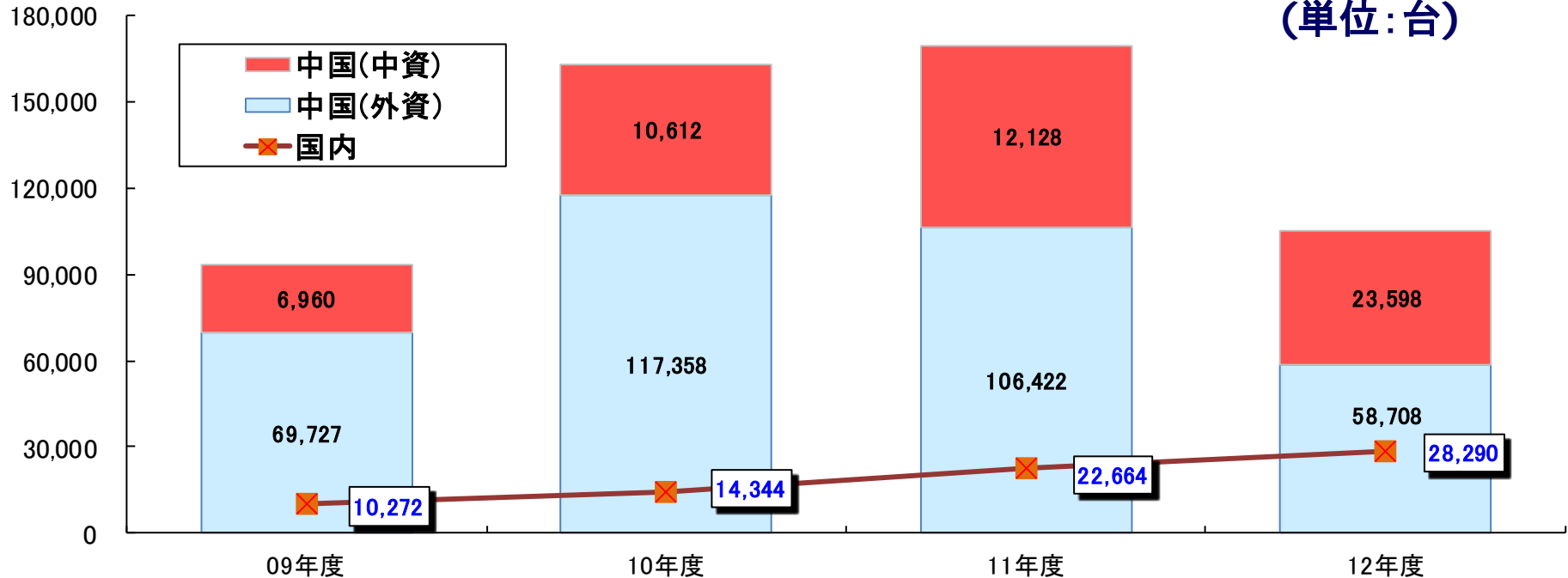
アルミ圧延品 国内	117	109	226	114	106	220
輸出	23	18	41	20	19	39
銅板条	25	22	47	23	19	42
銅 管	44	35	79	42	37	79



ECOWAY

【コベルコ建機】油圧ショベル需要動向

(単位:台)



		2011年度			2012年度		
		上期	下期	年度	上期	下期	年度
国内		8,960	13,704	22,664	12,908	15,382	28,290
中国※	外資	78,974	27,448	106,422	41,817	16,891	58,708
	中資	43,608	19,138	62,746	30,202	16,005	46,207
	合計	122,582	46,586	169,168	72,019	32,896	104,915

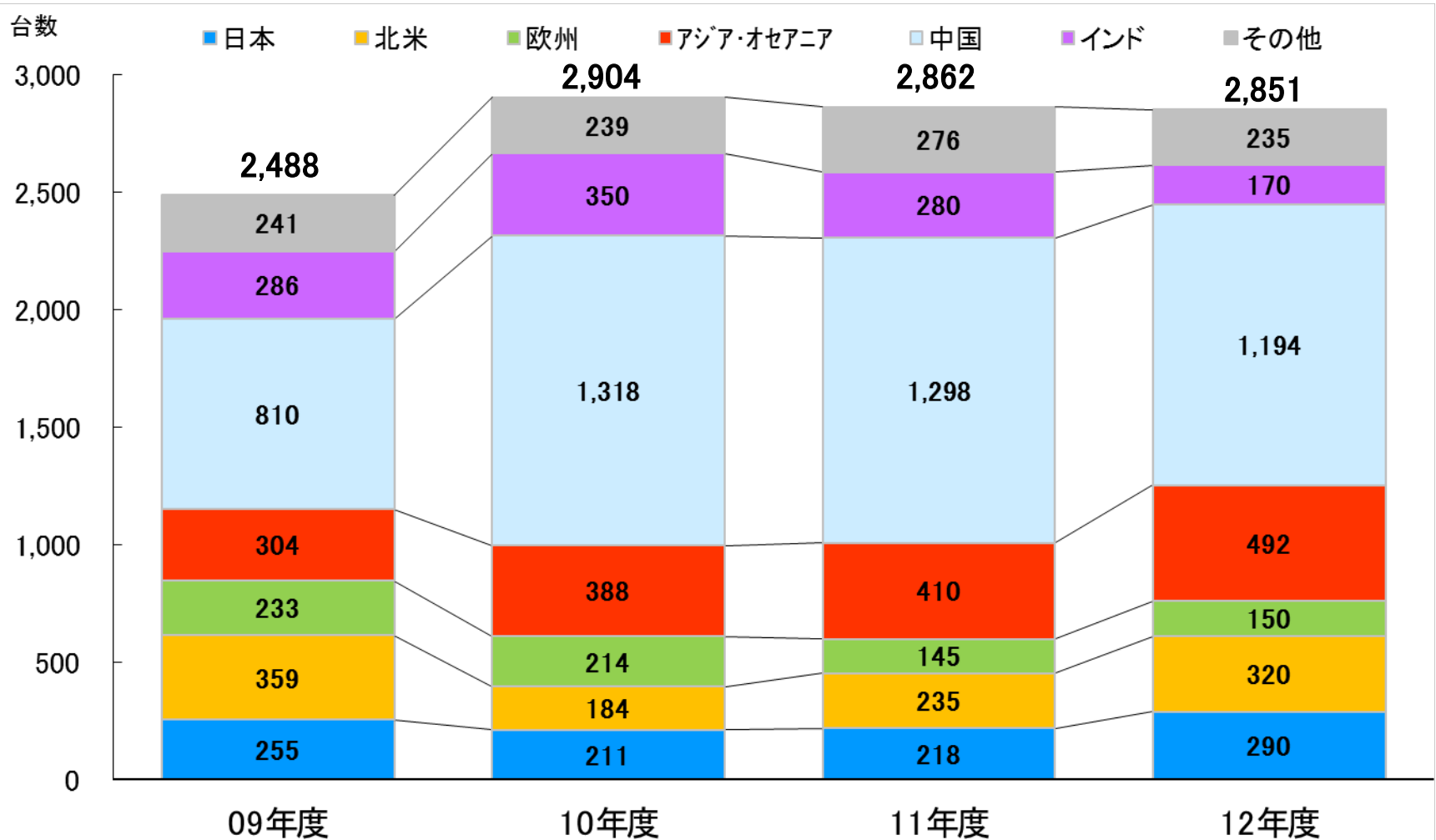
(※中国は1-12月でミニ含む 出典:中国工程机械工業協会)



ECOWAY

【コベルコクレーン】

クローラークレーンの世界需要(※当社推定)





ECOWAY

設備投資の状況

(単位:億円)

	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績①	2012年度 実績②	差異 ②-①
設備投資<計上>	1,287	913	960	1,149	+189
対減価償却費	108%	80%	81%	108%	-
" (IPP除く)	1,286	909	957	1,146	+189

設備投資<支払い>	1,282	966	832	1,095	+263
対減価償却費	108%	84%	71%	103%	-
" (IPP除く)	1,280	963	830	1,091	+261

減価償却費	1,188	1,148	1,180	1,067	△113
" (IPP除く)	1,076	1,049	1,091	979	△112



ECOWAY

フリー キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2011年度		2012年度			差異	
	実績 ①	2月公表 ②	実績			対前年 ③-①	対2月 ③-②
			上期	下期	年度③		
営業キャッシュ・フロー	237	100	213	95	308	+71	+208
投資キャッシュ・フロー	△ 827	△ 1,200	△ 685	△ 545	△ 1,230	△ 403	△ 30
フリーキャッシュ・フロー	△ 590	△ 1,100	△ 472	△ 449	△ 921	△ 331	+179
IPP含む フリーキャッシュ・フロー	△ 457	△ 900	△ 402	△ 379	△ 781	△ 324	+119



ECOWAY

在庫評価影響

(単位:億円)

	2011年度			2012年度			2013年度	差異	
	上期	下期	実績 年度①	上期	下期	実績 年度②	見通し 年度③	11対12 ②-①	12対13 ③-②
鉄鋼	110	△ 120	△ 10	△ 135	△ 60	△ 195	105	△ 185	+ 300
アルミ・銅	10	5	15	△ 20	△ 5	△ 25	10	△ 40	+ 35



ECOWAY

要員推移

(単位:人)

	2011年度 実績①	2012年度 実績②	差異 ②-①
連結従業員数	35,496	36,018	522
(単独)	10,370	10,398	28



ECOWAY

四半期毎の連結業績推移

(単位:億円)

	2011年度 実績				2012年度 実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,714	4,886	4,494	4,551	4,341	4,244	3,891	4,378
営業損益	290	229	171	△ 85	△ 27	83	8	47
経常損益	239	145	116	△ 163	△ 104	△ 5	△ 52	△ 19
特別損益	0	0	△ 138	78	△ 141	△ 38	152	△ 43
当期損益	98	75	△ 47	△ 268	△ 322	△ 59	155	△ 42



ECOWAY

四半期毎の連結業績推移(セグメント別売上高)

(単位:億円)

	2011年度 実績				2012年度 実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
鉄鋼	1,956	2,244	2,222	2,118	1,922	1,913	1,789	1,802
溶接	216	205	206	215	213	206	195	205
アルミ・銅	793	760	693	651	719	657	613	631
機械	411	389	327	399	397	411	338	524
エンジニアリング	124	178	129	126	71	107	92	193
神鋼環境ソリューション	124	174	188	225	136	155	179	254
コベルコ建機	977	824	616	653	801	702	572	602
コベルコクレーン	118	111	116	134	95	125	105	127
その他	147	164	157	222	139	146	159	287
消去	△ 155	△ 166	△ 163	△ 194	△ 156	△ 181	△ 155	△ 251
合計	4,714	4,886	4,494	4,551	4,341	4,244	3,891	4,378



ECOWAY

四半期毎の連結業績推移(セグメント別経常損益)

(単位:億円)

	2011年度 実績				2012年度 実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
鉄鋼	33	1	1	△ 183	△ 189	△ 50	△ 130	△ 131
溶接	13	8	3	5	5	5	△ 0	11
アルミ・銅	53	16	9	△ 18	17	△ 4	18	6
機械	33	23	32	10	24	19	35	40
エンジニアリング	△ 6	12	28	△ 31	△ 5	△ 2	△ 2	△ 2
神鋼環境ソリューション	4	10	18	8	△ 1	4	4	31
コベルコ建機	111	74	16	26	39	17	18	△ 6
コベルコクレーン	△ 4	5	△ 0	1	△ 4	△ 4	△ 3	△ 9
その他	12	14	13	31	10	11	15	38
消去	△ 11	△ 20	△ 7	△ 15	△ 0	△ 2	△ 7	2
合計	239	145	116	△ 163	△ 104	△ 5	△ 52	△ 19



企業理念

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

以上の理念の下、グループ全体としての企業価値を向上させます。



将来見通しに関する注意事項

- ・ 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまふ可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- ・ 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - － 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - － 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - － 為替相場の変動
 - － 原材料のアベイラビリティや市況
 - － 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - － 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化